Anastasia ~ UTIGAZIMA ~

文月 シュウヤ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Anastasia ～ UTIGAZIMA ～

【Nコード】

N2705Z

【作者名】

文月 シュウヤ

【あらすじ】

俺は女の造った歴史追憶マシンとやらに乗ることになった。

プロローグ（前書き）

この物語は作者の妄想が大半になっています。
歴史の偉人のイメージを崩したくない方は見ない方がいいかもしれません。

あと出来れば物語のオチを守るために登場人物の名前を調べたりしないでください。重大なネタバレが発覚する恐れがあります。

プロローグ

「ようこそ我が研究所へ」

コンクリート打ちっぱなしの部屋に女の綺麗な声を通る。

「いったい何ですか？」

俺が聞く。

「ついに完成したのよ！」

女は子供のように興奮した様子で言う。

「……何が？」

女は一つ咳払いをしてから言う。

「歴史追憶マシン！」

「はあ………？」

「いやー、我ながら頑張った！うん、頑張った！」

「いや………完成したのはいいんですけど」

「ん？」

「だからなんなんですか？」

「分からないの？」

「はい」

「これを使えばね………」

少しの間

「歴史の偉人の記憶を追憶することが出来るのよ！」

「まんまじゃないですか」

「と言うわけで乗ってみ？」

「どういうわけですか？……仮に完成していたとしてもそんなのに乗れるわけ無いじゃないですか」

「そんなつれない事言わないでさあ」

うるんだ瞳で頼まれる。俺はこの顔で頼まれるとどうも弱い。

「……はあ」

「っ溜め息。」

「分かりました。乗ればいいんですね」

「さっすがー！話が分かる！」

「で、誰の記憶を追憶するんですか？」

「んー？当ててみな、ヒントは戦国時代の人」

「それだとやっぱり織田信長とか豊臣秀吉とかですかね」

「残念はずれでーす正解は……」

「内ヶ島氏理（うちがしまじゆり）よ」

「誰ですかそれ」

「さあ？」

「えっ……」

「でもまあ少ない文献には昔の岐阜のあたりの大名だったらしいわ」

「へえ……」

「で、歴史家達での呼び名……というか肩書きは」

「【戦国史上最も磐石にして最も悲劇的な男】」

「……」

「じゃ、行つてらっしゃい」

「いや、この機械の使い方聞いてないんですが」

「えーと、その椅子に座つて2時間くらい寝る」

「それだけ？」

「それだけ、時代設定とかはこつちでやるから」

言われるがままに椅子に座る。

すると急に強烈な眠気が俺を襲つた。

1575年一（天正3年）5月21日

飛騨国白川郷帰雲城

【戦国史上最も磐石にして最も悲劇的な男】の人生後半を描く……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2705z/>

Anastasia ~UTIGAZIMA~

2011年12月9日17時46分発行